

巡回企画展「野辺山天文台展」開催中

現在展示場1階にて、巡回企画展「野辺山天文台展」を開催しています。

「野辺山天文台」は正式には「国立天文台野辺山宇宙電波観測所」で、1982年より45m電波望遠鏡での電波観測が行われています。40年以上経った現在も現役で、国内外の多くの研究者がこの望遠鏡で研究や装置の開発・改良などを進めており、電波天文学における国際的な拠点となっています。

本企画展では、野辺山天文台の観測の歴史や、電波望遠鏡のしくみなどを解説パネルで紹介しています。また、以前野辺山天文台で実際に使われていた「音響光学型電波分光計(AOS)」(の一部)も合わせて展示しています。これは、45m電波望遠鏡で受信した電波を超音波に変換し、そこに平行レーザー光を当て屈折した光をレンズで集めることで、広い周波数範囲を細かく分光できる装置です。観測開始以来、世界最大の電波分光計として30年以上活躍し、世界初の巨大ブラックホールの観測や多数の新たな星間分子の発見など、多くの科学的成果を残しています。現在は計算機の発達に伴い、デジタル分光計へと置き換わっています。

なお野辺山天文台は、今年4月より公開された某有名アニメ映画にて取り上げられたことで、一躍有名になりました。この映画を見られた方も、そうでない方も、ぜひこの機会に本企画展で野辺山天文台の歩みをご覧ください。

西野 藍子(科学館学芸員)



音響光学型電波分光計(AOS)

学芸員の
展示場ガイド

「学芸員の展示場ガイド」では、サイエンスガイドの方というんな展示を動画で紹介しています。ホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください！